

仙台市議会議員 **いのまた由美** 議会報告

ゆみコミ



2022年11月発行 10号

発行人:いのまた由美(太白区版)

事務所 〒982-0801 仙台市太白区八木山本町1-36-7
グランチェスタ八木山101 TEL/FAX 022-797-7748

令和4年第3回定例市議会が9月5日から開かれました。条例案件が13件、その他案件が6件、人事案件が3件、補正予算案が5件、決算認定等に関する件が7件、合わせて34件の議案が当初提案されました。追加で、住民税非課税世帯等への【電力・ガス・食料品価格高騰緊急支援金】と、【G7仙台科学技術大臣会合開催準備に要する経費】の補正予算案が提案されました。全て承認可決し、10月6日に終了しました。いのまた由美は、9月22日の決算等審査特別委員会の質問と、10月4日の本会議に会派を代表して追加補正予算の質疑に立ちました。



10月4日 本会議 質疑(一部要旨)

【電力・ガス・食料品価格高騰緊急支援金】

質問 この10月から6699品目の食品の値上げがありました。この間続いているインフレは、物価高騰にあわせて賃金は上がっていないことから悪質なインフレと指摘する声もあります。今回の緊急支援給付金は5万円と提案されていますが、物価高騰による家庭の出費の上昇は1家庭あたり年7-8万円という試算もあります。緊急支援給付金が5万円で十分と考えるおられるのか、伺います。

答弁 今回の給付金の5万円は、全国一律の基準により支給されるもの。給付額は国において、低所得世帯における電力・ガス・食料品等の価格高騰に相当する金額が1か月に約5千円であるところ、今後の物価の上昇も見込み、その6か月分の額を十分に上回る金額を支給する旨、示されているところです。

質問 【独自の補助、今回対象者以外への支援】
家計への影響が大きいのは今回の対象世帯だけではなくありません。ひとり親家庭への児童扶養手当受給世帯等も独自給付の対象としている北九州市などの例もあります。フードバンク仙台は2022年4月から7月まで1134件の食糧支援依頼や相談を受けたと公表しています。食糧支援を受けている方の4割が就業中で、働いていても貧困という現状がわかります。今回の国の給付金対象は約8割が年金生活者なのではないかといわれておりますが、電力・ガス・食料品の価格高騰による本市の市民生活への影響をどのように認識され、給付金の対象以外の方への支援策を今後おこなうのか、伺います。

答弁 今定例会では、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等の皆様に関して追加提案しましたが、今般のエネルギー・食料品価格等の物価高騰は、広く市民の皆様の日常生活に影響を及ぼしているものと、危機感を持って受け止めております。現在、全庁を挙げて、必要な支援策について検討を進めており、国や県の動向などの情報収集を図りながら、今後、本市の実情に応じた施策を実施してまいります。

質問 【支給ミス 受止めと改善策】
仙台市の内部統制評価報告書によると、令和3年度の不適切処理等503件があり、財務関係の不備が282件(56%)と報告されています。令和2年度より88件増えていることも遺憾と申します。健康福祉局においては、10万円臨時特別給付金と冬季生活助成金にも支給誤りもありました。このことについての受け止めと、緊急支援給付金においてもミスを繰り返さないために今回はどのような改善策をとるのかを、伺います。

答弁 ミスが発生したことは、本市の職員と業務を委託している事業者との連携が不十分であったことが原因で、基本的な情報共有が不足していたものと受け止めております。

この件に関して、給付金事務全般について事務フローを見直し、誤支給を防止するシステム改修などの改善策を講じたところですが、今回の緊急支援給付金の事務処理に当たりましては、同様のミスを繰り返さないよう、日常的に事務処理手順の確認を行うなど、正確かつ迅速な支給に努めてまいります。

来年度予算要望を提出しました



仙台市議会、社民フォーラム市議団は、来年度（2023年度）の市政運営要望、予算要望を10月13日に郡和子市長に提出しました。

（太白区関連）

- 長町八木山線の信号間隔、円滑走行対策、一部未開通部分の整備を促進すること地域の幹線道路である南仙台四郎丸線の凍結を見直し、さらなる延長を図ること
- 茂庭台地区などを始めとする郊外部の除雪開始時間を早めるなど十分な対策をとること。歩道のない市道については、除雪を基本として進めること
- 金剛沢三丁目と鉤取三丁目と金剛沢橋の五差路に信号を設置するなど安全対策を行うこと
- 市道上野山線の上野山一丁目付近の狭隘道路を改良すること
- 山田と太白団地への交差点や山田交番前付近の児童の通行の安全対策に努めること
- 八木山香澄町・松波町付近の商店街の歩道・道路を改良し歩行者の安全に努めること。倒壊のおそれや生活の妨げになる樹木への対策をとること
- 後田川の護岸工事の推進など災害対策を強化し、多自然型整備をすすめること。定期的な除草など河川管理、監視を継続すること
- 水害防止に向け名取川の中州除去を民地所有者や地域住民の協力も得ながら行うこと
- 松が丘と青山一丁目の境のコンクリート製擁壁の老朽化が進んでいるため、所有者不明状態を解消するための必要な措置をおこない、事故予防の対策をとれるよう周辺住民との協議をすすめること

- 南仙台駅の橋上化
- 都市計画道路郡山折立線の整備促進



仙台市議会議員 いのまた由美 お声をお聞かせください

社民フォーラム市議団所属。経済環境委員会 副委員長、防災・減災推進調査特別委員会 副委員長、広報委員会に所属。准看護師、防災士、法政大学通信教育部法学部在籍。2児の母。立憲民主党宮城県連 子ども子育て担当幹事。

要望書は毎年提出しているもので、本市の状況を踏まえ、市民から寄せられた意見や要望、社民フォーラム市議団および各議員の調査研究に基づき、喫緊に対応が求められる課題や将来を展望した政策等をまとめたものです。加えて、コロナ対策に関する申し入れ7件、物価高騰等に伴う支援強化について5件を申し入れました。

会派メンバーからはパートナーシップ宣誓制度を急ぐこと、子どもの権利条例については毎年求めているが、とりわけ国としてもこども庁ができることもあり早急に条例制定をすること、物価高騰に関して、子ども食堂やフードバンクに対しても支援の強化を求めるなどが述べられました。

私たち社民フォーラム市議団は市民の皆様のいのちとくらしに寄り添うべく、会派一丸となって邁進いたします。

- 西多賀中学校の校庭から近隣住宅地に野球のボールが飛び出すことがあるため、早期に校庭のネットを高く補修するなどの対策を行うこと
- 西多賀小学校西側(正門側)の通学路は交通量も多く、非常に危険な状況にあるので、人命を重視して、事故が発生しないうちに改善を図ること。学校の敷地内の使用、人家側への道路拡張などを検討しながら市道の拡幅をし、通学路を十分に確保し安全対策を十分に行うこと
- 上野山小学校の建替にあたっては、児童・保護者・地域住民の意見をできるだけ反映した特色ある学校づくりを進めること。また建替中の教育環境への配慮を行うこと
- 金剛沢小学校の体育館、八木山中学校の体育館を早急に全面改築すること
- 袋原小学校の体育館を早急に建て替えすること。また、東四郎丸小学校の外トイレの改修を早急に実施すること
- 中田小学校の建て替えを行うこと。防災の資機材倉庫の増設を行うこと
- 馬場小学校、秋保小学校の統合にあたっては、両小学校区や秋保中学校区ほか、児童生徒・保護者・地域住民と十分な協議をし、新築される学校のあり方を検討して特色ある学校づくりを進めるとともに、人口流出を防ぐため交通環境や子育て環境の充実等一層の地域振興策を実施すること
- 放課後児童クラブ事業が実施されていない秋保小学校区で放課後に保護者が家庭にいない児童の健全育成の体制確保のため、地域住民との協議を進めること